

## 第 19 回日本在宅静脈経腸栄養研究会学術集会

会長 奥山宏臣 大阪大学小児成育外科

会場 銀杏会館 大阪大学吹田キャンパス

会期 2023 年 10 月 14 日(土)

テーマ 「在宅栄養が必要な患者さんの QOL を多職種で考えよう！」

本研究会は昭和 60 年に始まった日本在宅経腸栄養研究会と昭和 61 年に始まった日本在宅静脈栄養研究会が平成 15 年に同時開催され、平成 16 年より現在の研究会の名称となりました。今回で 19 回となりますが、それと同じ長さのそれぞれの研究会の歴史があります。大阪大学では合併前の日本在宅静脈栄養研究会において岡田正、原田徳蔵、高木洋治らが会長をつとめ、本研究会に名称を変更した後は福澤正洋、井田忍が会長を努めており、大阪大学ともゆかりの深い研究会でもあります。そうした長い歴史を持つ本研究会を、今回当教室で開催させていただきますこと誠に光栄に存じます。

これらの研究会発足当時と比べますと、在宅医療は社会的にも医学的にもますますその重要性が増しています。改めてこの研究会を立ち上げられた諸先輩がたの慧眼に敬意を表します。

今回のテーマは「在宅栄養が必要な患者さんの QOL を多職種で考えよう！」としました。在宅医療は医師だけでなく、多くの職種の方に関わっていただいて初めて成り立つ医療です。そして在宅医療を取り巻く環境が整備されて患者さんが増えるに伴い、安全に在宅医療を継続するだけでなく、個々の患者さんのさらなる QOL の向上が求められています。今回は多職種の方々にも加わっていただき、患者さんの QOL 向上に向けての色々な取り組みをご紹介いただきたいと思います。在宅医療に関わる全ての職種の方々のご発表を歓迎します。多くの方々と秋の大阪でお会いできますことを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。